

事業所自己評価シート（児童発達支援）

職員による自己評価

A環境・体制整備

- ・事業2階であることからバリアフリーというには適さない部分がある

B児童への支援内容

- ・日ごとの職員間の事前打ち合わせや振り返りをもう少し形式化していきたい

C関係機関との連携

- ・幼稚園、保育園との情報共有が不足していると感じている

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・特に現状は問題なしと考えます

E非常対応

- ・内部でのヒヤリハットのまとめを更に充実させたい

保護者による評価

A環境・体制整備

- ・階段の為、バリアフリーとは言えないところ
- ・スタッフの専門性の部分がSNSの発信からは見えにくい

- ・ユニホームの柔軟剤の匂いがきつい方がいた

B適切な支援の提供

- ・満足度ほぼ100%
- ・その他の児童福祉施設との交流等はニーズ低い（インクルージョンへのニーズ）

C保護者への説明等

- ・満足していただいているご意見多数
- ・保護者会があった方が良いという意見はほぼ無し
- ・SNSでの発信を楽しみにしています

D非常対応

- ・ご指摘、ご意見、ご不満等無し

E事業所満足度

- ・支援への満足度および通所への楽しみ度は99%となりました

事業所内での分析

【共通点】

- ・全体的に、180度相違になる項目もなし

【相違点】

- ・職員間での打ち合わせや情報共有、振り返り等の部分でより密度の濃いものを求めている声があがっている
- ・SNSでの発信の仕方がおそらくワンパターン化しており、その中での変化やメッセージが伝わりにくくなっているため、今後改善していく
- ・通所期間が数年を迎える方が増えてきたことで、保護者の方も意見を以前より言いやすい様子

事業所自己評価シート（放課後等デイサービス）

職員による自己評価

A環境・体制整備

- ・事業所の場所が2階であることからバリアフリーというには適さない部分がある

B児童への支援内容

- ・日ごとの職員間の事前打ち合わせや振り返りをもう少し形式化していきたい

C関係機関との連携

- ・特に問題はないと感じています

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・特に現状は問題なしと考えます

E非常対応

- ・内部でのヒヤリハットのまとめを更に充実させたい

保護者による評価

A環境・体制整備

- ・やはり2階への階段に少し急さを感じている方が少数居る
- ・少し指導訓練室に狭さを感じている方がいる

B適切な支援の提供

- ・満足度は高い
- ・その他の児童福祉施設との交流等はニーズ低い

C保護者への説明等

- ・各ご家庭より満足を得られています

D非常対応

- ・ご指摘、ご意見、ご不満等無し

E事業所満足度

- ・子どもは通所を楽しみにしているか
 - ・・・はい 99%
 - ・・・どちらともいえない 1%
- ・事業所の支援に満足しているか
 - ・・・はい 99%
 - ・・・どちらともいえない 1%

事業所内での分析

【共通点】

- ・全体的に、180度相違になる項目もなし

【相違点】

- ・職員間での打ち合わせや情報共有、振り返り等の部分でより密度の濃いものを求めている声があがっている
- ・通所に関して、楽しみか・満足しているかの設問に「どちらともいえない」と感じている利用者とその保護者に向けて（1%）、改善点を自らで見出し、100%を目指していこうと思う

分析・検討してみて…

事業所の強み

- 事業所の療育に対する直接的なご不満等はほぼ無いため、今の療育スタイルや方法を信じ、今後もスタッフ一同協力し実践していく
- 保護者様・各家庭との信頼関係は良いものを築くことが出来ていると感じる
- 利用している児童のほとんどがそれぞれ楽しく通うことが出来ていること
- 心理師がいるという事での親子の心の成長からケアまでカバーできる

事業所の改善点

- 安全に事業所までの階段の昇降を行う体制づくりの徹底
- スタッフ間でのミーティングや振り返りについての実施方法の明確化と頻度 up
- SNS での発信方法のバリエーションを増やし、その中で専門性もより明確に感じられるようにしていく
- 常に細部に意識を払い、全員が楽しく満足して通える・通わせられる事業所を目指していく

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

• 3年目に入り、療育の質を高めていく段階には来ているという自覚は大いにあり、その為にも今回、内外から挙がったご指摘やご意見をより一層真摯に受け止める必要性を感じております。

中でも SNS での療育の様子の発信がとても大きな意味を持っており、関係者及び保護者の皆様の多くが関心を持っておられることが今回改めて分かりました。来年度はその部分での意味のある変化を付けていく事を目標にしつつ、初心に戻り、丁寧にかつ子ども一人ひとりが楽しいと思える空間作り、療育を行っていく事に社員一同邁進していきたいと思っております。また、働くスタッフたちがより快適な、風通しの良い職場作りも心掛けます。

会社名 株式会社 Wonder Joy Planet

事業所名 Wonder Joy Kids 茅ヶ崎 -ワンダージョイキッズ-

担当者 高山 大輔